

TAKEHARA ROTARY CLUB ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710
WEEKLY BULLTIN 竹原ロータリークラブ週報



会 長 夜船 正昭
 会長エレクト 久藤 孝仁
 副 会 長 菅 義尚
 幹 事 佐々木 秀明
 副 幹 事 中川 康子
 会 計 田中 幸俊
 S A A 下山 生修

副 S A A 小坂 啓子
 直 前 会 長 木村 安伸
 管 理 運 営 大成 義彦
 会 員 組 織 土居 敏昭
 奉 仕 朝比奈勝也
 広 報 宮本 和彦
 R財団米山 大森 寛

四つのテスト
 1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

事務局 〒725-0026竹原市中央4丁目8-2第1 おおぎビル102号
 TEL 0846-22-7570 FAX 0846-22-7651
 Email:rc-take@estate.ocn.ne.jp HP:www5.ocn.ne.jp/~rc-take
 大広苑 〒725-0021竹原市竹原町3591-1 TEL 0846-22-2970
 例会場 毎週木曜日12:30~13:30 発行:クラブ広報委員会

本日のプログラム 2月26日	次回のプログラム 3月5日
国際奉仕委員会担当例会 広島商船高等専門学校 国際交流室長 桑田 明広 様 留学生:ダバザンブー ガンウール様 フィルダウズ ラーコン ビン モハメド アンサリ様	誕生祝・各会員各記念日祝 誕生月該当者会員卓話

【 2015年2月12日 第2464回例会記録 】
 【 2015年2月19日 第2465回例会記録 】

2月12日 第2464回

□ソング: それでこそロータリー
 □ゲスト:
 J-POWER 電源開発株式会社
 竹原火力発電所兼竹原火力新1号機建設所
 所長代理 西田 健太郎様
 竹原火力新1号機建設所
 立地・環境グループグループリーダー 畠 誠二様

スマイルボックス

□会員誕生日 …三好
 □配偶者誕生日…坂田、小坂
 □特別スマイル
 ・西田健太郎様

幹 事 報 告

幹事 佐々木 秀明
 ・2015-16年度PETS&地区チーム研修セミナー開催
 のご案内 ガバナーエレクト 東 良輝
 日 時 3月22日(日)
 場 所 ホテルグランヴィア広島
 登録料 10,000円
 ・RI第3690地区(韓国)地区大会ご案内

会 長 の 時 間

会長 夜船 正昭
 皆様こんにちは。まずは女性ロータリアンの皆様
 に御礼申し上げます。
 本日は外部卓話の日でございます。電源開発竹原
 火力発電所の西田健太郎様と畠誠二様にはご多忙

の中、当クラブ例会へお越し頂き有難うございま
 す。西田様には後程卓話をして頂きますが宜しく
 お願い致します。

委 員 会 報 告

□次年度幹事 三好 静子
 2月1日(日)竹原ロードレース大会での奉仕活動に
 は沢山の皆様に参加して頂き有難うございました。
 例会前に次年度理事役員会を開催しましたので承
 認事項を報告致します。(別途記載)
 □SAA 下山 生修
 1月8日(木)大広苑で開催した新年互礼会の決算報
 告を行います。

外 部 卓 話

J-POWER 電源開発株式会社
 竹原火力発電所兼竹原火力新1号機建設所
 所長代理 西田 健太郎様



皆様こんにちは。竹原火力発
 電所の技術系の所長代理をし
 ております西田でございます。
 本日は宜しくお願い致します。
 皆さん、竹原にJ-POWERとい
 う会社があるのはご存知と思いま
 す。電力を作っ
 ている会社ですが、電力といえば中国電力が思い
 浮かばれると思います。私も入社する以前はあま
 り理解していませんでした。
 J-POWERは、1952年、戦後間もなく、全国的な電力

不足を克服するため、日本の経済発展を支える電力エネルギーを開発・供給する特殊法人として時限立法で政府により設立されました。以来、今日まで、全国で約1700万kWにのぼる発電設備を設計・建設・運転し、電力会社に電力を販売する卸発電会社として皆様の生活と産業活動を支える電力供給の一翼を担ってきました。

「J-POWER」という名称には、これまで60年にわたり日本国および世界各国で事業を展開してきた実績と技術力を活かし、日本企業としての「エネルギー」と「環境」の二つ分野を中心に世界を舞台に幅広く事業を展開し、地球の未来のために多くの「パワー」を与えたいという思いが込められています。

1963年9月に竹原火力建設所を開設し、竹原火力発電所1号機は、国の石炭政策に応える国内炭火力として1967年に運開しました。2号機は、高度成長期の需要急増に応える緊急開発電源として、1974年に重油焚きとして運開、その後石油代替エネルギー対策の一環として、流動床ボイラを採用した海外炭火力として改造工事を行ない、1995年に営業運転を再開しました。出力70万kWの3号機は海外炭火力のスケールアップが進む中で、1983年3月に完成しました。また、1号機・2号機ともに高経年化対応・地球温暖化問題への積極的対応の為に設備更新を行うこととし、平成26年3月に竹原火力新1号機設備更新工事を着工しました。新1号機は最新設備の導入により、硫黄酸化物(SOx)・窒素酸化物(NOx)等の環境負荷を低減するとともに、エネルギー利用効率を向上し低炭素化を図ります。

再び、石炭は脚光を浴びています。長い石炭利用技術の蓄積があり、また新しいクリーン利用技術があります。また石炭は地球上の広い地域に豊富な埋蔵量が確認されており、資源の安全供給の面からも電源のベストミックスの主要な選択肢となります。J-POWER、そして竹原火力発電所は、この石炭を利用して今後も電力の安定供給に貢献して参ります。

《J-POWERの沿革》

1952-1968年：全国的な電力不足を克服する為1952年7月「電源開発促進法」が成立。この法律に基づいて同年9月に設立。まず大規模水力発電の開発に取り組む。1969年～1980年：ベース電源として石油火力のウエイトが高まり、原子力の開発が進む中で、夏の電力ピークがますます先鋭化。ピーク対応策として、大規模揚水発電の開発と大容量送電線の建設を進めた。1981-1990年：1970年代の二度に亘るオイルショック以降、エネルギー源の多様化が強く求められる中で、国内初となる海外炭を燃料とする大規模石炭火力発電所の建設に取り組む。1990年～2000年：拡大し続ける電力需要をにらみながら、エネルギー効率の向上や環境問題への取り組みに力を入れるとともに、国際化の時代に対応した幅広い活動を、国内でまた海外で推し進めた。

2000年～2011年：エネルギー市場の自由化に対応し、新しい事業を展開。それを推進するために、さらなるコストダウン、財務体質の強化など、大胆な自己改革を進めています。

出席報告

総員	出席	欠席	メイク	免除	出席率
37名	29名	5名	1名	2名	86.49%

2月19日 第2465回 4クラブ合同例会 (三原・瀬戸田・広島空港・竹原RC) 於：グリーンスカイホテル竹原

三原RC	43名	
瀬戸田RC	6名	
広島空港RC	14名	
竹原RC	30名	計93名

《例会》18時～

- ①点鐘 竹原RC会長 夜船正昭
- ②国歌斉唱
- ③ロータリーソング「奉仕の理想」
- ④参加会員紹介 竹原RCSAA 下山生修
- ⑤会長挨拶(会長時間) 各クラブ会長
- ⑥幹事報告 各クラブ幹事
- ⑦G9ガバナー補佐挨拶 広島空港RC 森崎正治
- ⑧次年度役員紹介 各クラブ次年度幹事
- ⑨次年度G9ガバナー補佐挨拶 竹原RC 市川重雄
- ⑩閉会・点鐘 竹原RC会長 夜船正昭
- 《懇親会》
- ①開会挨拶 竹原RC副会長 菅 義尚
- ②乾杯 G9ガバナー補佐 森崎正治
- ③歓談
- ④次年度開催クラブ会長挨拶 瀬戸田RC 耕三寺孝三
- ⑤ロータリーソング「手に手つないで」
- ⑥閉会挨拶 竹原RC次年度会長 久藤孝仁

会長挨拶



会長 夜船 正昭

4クラブのロータリアンの皆様、竹原へようこそいらっしゃいました。

本日は総勢93名の会員のご出席を頂いております。

さて、先般の我が竹原RC創立50

周年式典にはご多忙の中、森崎ガバナー補佐をはじめ各クラブの皆様の御出席を頂き有難うございました。この席をお借りして心より御礼申し上げます。本日の合同例会は、近隣クラブの仲間として語り合い、友情が芽生え、深められれば幸いです。ロータリアンとしての親睦を図るのが目的でございます。竹原の酒を飲みながら、マッサンの竹原を論じて頂ければ幸甚でございます。本日の合同例会、懇親会が有意義に終わることを祈念致しまして御挨拶に代えさせていただきます。

出席報告

総員	出席	欠席	メイク	免除	出席率
37名	28名	4名	3名	2名	89.19%



森崎ガバナー補佐



市川次年度ガバナー補佐



例会司会：下山SAA



懇親会司会：吉本・中川会員



次年度役員紹介：三好会員



手に手つないで♪